

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	55	安全な環境づくりについて、設備面ではバリアフリーで手摺も設置し、安全かつ自立した生活が送れるよう配慮しているが、利用者の加齢に伴い転倒の危険は常に存在する。	転倒事故が起きないように、最大限の注意を払う。	通路、共用スペースには障害物を置かず、利用者の行動の障害にならないよう注意するとともに、常に見守り、介助のケアを徹底する。	3ヶ月
2	35	災害対策では、市補助金を活用し、火災通報装置及び自動火災報知機の設置は本年2月までに完了するが、スプリンクラー設備は未設置である。	スプリンクラー設備についても、補助金を申請し、23年度中に設置する。	市補助金のみでは不足し自己資金が必要になった場合でも、スプリンクラー設置を積極的に検討する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。